

|     |                 |   |
|-----|-----------------|---|
| 氏名  | 張 彬彬 (チョウ ヒンビン) |  |
| テーマ | 居酒屋の物語          |   |
| 学校名 | 愛和外語学院          |   |

みなさん、この世界の中にはどこにでも誰にでも、自分だけの物語があります。私の人生は旅です。私の人生の中のいろいろなところで、いろいろな物語を見ました。私はそれらの物語を大切に覚えていきます。今日は皆さんに1つ紹介します。聞いてください。

日本に来て以来、街を歩いているとき「居酒屋どうですか?」「あっ、すみません居酒屋どうですか?」という言葉は何回も聞いています。皆さんもありますか?居酒屋に入ると、その店の中に物語が見つげられます。

みんな何を話しますか?聞いてみましょう。

1番テーブルでは、

「(ヒック)、すみません!生ビールもう一杯お願いします!」

おう、ちょっと酔っている。

2番テーブルで、友達の会話です。

「小野さん聞いて、聞いて!私、今日彼とつき合えることになった!ばりうれしい!」「がんばれ!」告白大成功。

3番テーブルでは学生です。

「みんな!卒業しても友達だよ!みんな忘れないで!絶対に忘れないで!」「乾杯」一緒に勉強の日懐かしいです。

5番テーブルは、お父さんと息子の会話です。

「おい、お前にいい知らせがあるぞ、父さんは、来週部長になるかもしれないぞ、だから、遠慮しないでどんどん注文しろ!(ハッハッハッ)」

「何笑っている?喜ぶのは早すぎるよ」

「お前も仕事がんばれ、がんばれ。」

など、ちょっと酔っている声は、居酒屋の中でとてもきれいな声に聞こえます。

言うまでもなく、日本人の仕事のストレスは大きいです。月曜日から金曜日まで、毎日疲れています。ですが金曜日に来て、一日の仕事が終わったら、社員と友達と一緒に居酒屋へ行きます。

飲む、飲む、飲む、飲む、飲む、飲む、後で一緒に二日酔いです。これが日本人にとって、楽しいのです。

実は、居酒屋は、お酒に酔うためのところだけじゃなくて、ストレスを解消するところなのです。日本人は居酒屋でストレスを解消して来週も続けて一生懸命頑張るのです。その時、居酒屋で飲む、お酒の味は苦いのではなくて、甘いのです。心もあたたかくなります。

みなさん、将来の、とある一日、私たちがこの物語の主人公になるかもしれません、どんな人になるでしょうか?楽しみですね...

この物語はおしまいです。